

ふらりと、広報担当が行く



このコーナーでは、広報担当者が町内の各所を気まに散策し、その場所の「魅力」や「情報」、そこで「感じたこと」などを発信していきます。

シリーズ⑥

『上吹入の杉と椎の双体樹』を訪れてみる編



- ①相馬高神社までの道のり
- ②上吹入の杉と椎の双体樹
- ③双体樹は町の指定文化財に指定されています

上吹入の杉と椎の双体樹は上吹入地区にある相馬高神社の鳥居をはさんで反対側に生息しています。その鳥居がある相馬高神社の境内は道路からは見え、木々が生い茂る階段を登った先に見えてきます。

杉の樹高約25m、椎の樹高約15m、双体の目通り幹周は約5・5mの双体樹は、神社の「神木」として町内でもまれな大きさだと言われている巨木です。

私も実際に訪れてみた感想は、双体樹に辿り着くまでの道のりは頭上に木々が生い茂り、足元は落ち葉や苔で覆われ、至るところから虫などの生物たちが動く音が聞こえてきて、まるで秘密基地にいるかのような気分になりました。双体樹の周囲にも多くの木々がありますが、その中でも際立って大きく貫禄があり、まさに「神木」といった印象を受けました。

また、周囲一体に群がって生えている樹木の間から差し込む日差しからは、自然の趣を感じることができました。

芝山町には、神社や寺院、石仏などの信仰に関するスポットが数多く存在し、その周辺には、今回私が訪れた「上吹入の杉と椎の双体樹」の他にも「加茂地区の普賢院にある榎の木」や「殿部田地区の熊野神社にある榎の木」など、神木とされる巨木が残されています。

あとがき

◆今月号では、ブルーベリー農園を営む佐藤さん夫婦取材しました。お話を伺うと、僕と佐藤さん夫婦は同じ年で結婚した年も同じ（しかも時期が近い！）。さらには、お子さんが僕の上の子と同じ年…。共通点が多くてびっくりしました（笑）。◆自分と同じ年で新規就農されたことや、大きな意欲と情熱をもって仕事をされていることは本当に刺激になりました。自分も負けずに頑張らなければ！と思えましたし、同世代の方の活躍している姿は何か嬉しかったです。◆たくさん刺激をもらったので、僕もこれからさらに広報の仕事にまい進していきたいと思えます！取材のご協力ありがとうございました！◆さて、まだまだ暑い日が続きますので、皆さま体調に気をつけて残暑を乗り切りましょう。（D）

◆今月号では、中学校の総体取材しました。一生懸命にプレーする選手、一杯の声援を送る仲間たち、勝利に向かって全員が一体となり戦う姿にとても感動しました。◆広報を作成する中で私が一番頭を悩ませるのが「あとがき」です。毎月、なかなか筆が進まず苦労するので、文章力を身に付けるため本を読むことにしました。◆早速、都内のブックカフェへ。小説を手にとったのもつかの間、隣で友人が読んでいたファッション雑誌の誘惑に負けてしまいました…。本来の目的であった文章力は身につきませんでした。◆が、雑誌の中の写真レイアウトなどは勉強になったので、今後の広報作りに活かしていきたいと思えます！◆秋と言えは「読書の秋」。たくさん本を読むのが今年の秋の目標です！（M）